



開校明治七年
開校146年目

宗岡小だより

学校教育目標

自分がすき・友だちがすき・町がすきな宗小の子

育てる子供像 地域を愛し、誇りをもって、地域に貢献する子供

めざす学校像

「安全・安心できれいな学校」
「子供達一人一人の居場所があり、輝ける学校」

令和2年度 1月号

志木市立宗岡小学校

児童数 456名・学級数 18学級

住所 志木市中宗岡3-1-1

TEL 048-471-0307

1月の生活目標

さむさに負けずに
がんばろう

- ・外で元気に遊ぼう
- ・風邪の予防をしよう

夢は幸せになるための道しるべ

校長 石田 賢一

新年あけましておめでとうございます。本年も宗岡小学校をどうぞよろしくお願ひいたします。また、令和3年が宗岡小学校の子供達やそのご家族、地域の皆様にとって素晴らしい年となりますことを心より祈っております。

昨年は、新型コロナウイルスの影響があり、異例尽くしの一年となりました。本年も新型コロナウイルスの影響は続いていくと思いますが、新型コロナウイルスを正しく恐れ、子供達の健康と安全を確保しながら、通常の学校生活を取り戻していけるよう職員一同努力してまいります。保護者、地域の皆様にも本校の教育活動について引き続きご理解とご協力を賜りますよう、お願ひ申し上げます。

さて、令和3年のNHK大河ドラマは埼玉県の偉人である渋沢栄一が主人公の「青天を衝け」です。長い大河ドラマの歴史の中で埼玉県出身者が主役を務めるのは初めてです。今年一年は、渋沢栄一の出身地である深谷市を中心に埼玉県全体で盛り上がるのではないのでしょうか。

ここで、渋沢栄一について簡単に説明したいと思います。渋沢栄一は1840年に現在の埼玉県深谷市血洗島に生まれました。28歳のときにフランスに行き、日本とフランスの違いに驚きました。日本に帰国後は、新しい日本を作るためにいろいろな仕事をしました。1873年には日本最初の銀行を立ち上げ、その後500もの会社を作り、日本資本主義の父と呼ばれています。令和6年に発行される新一万円札の肖像画にも選ばれました。

今回のタイトル「夢は幸せになるための道しるべ」は、渋沢栄一が残した『夢七訓』を基に付けました。「一年の計は元旦にあり」と言いますが、これは「今年の夢や抱負を元旦に決めると、今年一年も素晴らしい一年になりますよ。」という先人の教えです。渋沢栄一は、豊かな人生を送るためには夢が必要だと考えており、その説明として『夢七訓』を残しています。



渋沢 栄一

夢なき者は理想なし 理想なき者は信念なし
信念なき者は計画なし 計画なき者は実行なし
実行なき者は成果なし 成果なき者は幸福なし
ゆえに幸福を求むる者は夢なかるべからず

難しいので現代風にまとめてみると

「夢」がない人は「理想」もない 「理想」がない人は「信念」もない
「信念」がない人は「計画」を立てない 「計画」がない人は「行動」しない
「行動」しない人は「成果」を得られない 「成果」を得られない人は「幸せ」になれない
だから「幸せ」を求めるなら「夢」が絶対に必要だ

となります。つまり、「夢は幸せになるための道しるべ」ということだと思います。

令和3年も本校の学校研究課題である「自分の思いや考えを生き生きと表現する児童の育成」に取り組み、子供達が自分の「夢」についても自信を持って話すことができるようにしてまいりたいと考えています。自分の「夢」を語る事ができる子供の育成のためには、家庭と地域の皆様の力が不可欠です。ぜひ、よろしくお願ひいたします。